

# 組合 スポットライト

## 企業組合戸沢村エゴマの会

シソ科に属するエゴマは、「芳香と旨味」があり良質の油脂が含まれているので栄養価が高く、健康に欠かせない栄養成分であり、人体内では生成できない $\alpha$ -リノレン酸を豊富に含むことから、生活習慣病やアレルギーの改善に期待できるなど注目されている健康食材です。

エゴマの栽培は、韓国から嫁いできた女性たちがキムチの材料として育て始めたのがきっかけとなりました。戸沢村では作付作物としてソバや大豆を作付けしてきましたが、収量が上がらなかったため、山間地でも比較的栽培しやすいエゴマに着目し、転作作物として奨励しました。

家庭用に作られていたエゴマを、「安全・安心な食用油として自給したい」という農家の有志達により、平成15年に任意組織を発足し、本格的な活動が始まりました。種の調達から栽培の指導まで、村の大勢の人が関わり栽培面積も増えていき事業規模が大きくなってきたため、平成27年に任意組織から企業組合として設立しました。

収穫量を上げ、良質なエゴマを作るために8月中旬に成長点の芽を摘むことで養分を実に行き渡らせる「摘心」を一株ごとに手作業で行います。また、収穫後には洗浄を繰り返し、乾燥させるなどの手間がかかります。乾燥が足りないとカビ臭さや油があまり絞れない



搾油作業

などの原因につながり、ちょうど収穫の時期に長雨が降る最上地域では、しっかりと自然乾燥させるのはなかなか大変とのことでした。

現在、組合ではエゴマ100%一番搾りの食用油やドレッシング、エゴマ葉の香り豊かな「えごま葉みそ」などエゴマ特有の香ばしさを活かした商品を大手百貨店やアンテナショップ等へ出しており、今後はさらに無添加の商品を増やしていきたいとのことでした。また、エゴマの生産者は60歳以上が多いため、将来的につなげてくれる若い人を雇用し、地域の活性化にも貢献していきたいとしています。



戸沢村のエゴマ畑

### 組合概要

所在地	最上郡戸沢村古口2932-1
TEL	0233-72-3614
主な事業	エゴマ商品の共同販売事業
代表理事	矢口 浩
設立	平成27年12月
組合員数	13